

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

18379

貴志川線対策事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	1	コンパクトシティの実現
施策	2	公共交通体系の充実
取組方針	3	公共交通機関の維持・充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	都市計画費		
	目	交通政策費		
	大事業	交通政策事業		
	中事業	貴志川線対策事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市地域公共交通網形成計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	交通政策課	大畑 敦義 435-1016
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
事業目的	貴志川線利用者及び沿線住民にとって重要な鉄道を存続させるため、運営に対する支援や設備整備に対する補助を行い、貴志川線の活性化を図る。		廃線の危機から運行継続が図られた貴志川線は、本市と隣接する紀の川市を結ぶ広域的な鉄道路線であり、また、山東方面への唯一の公共交通であるため、この限られた公共交通を存続維持させる。			
事業内容	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	
	貴志川線に対し設備整備費補助金等の支援を行う。また、貴志川線運営協議会や貴志川線運営委員会において利用促進につながる事業等を行う。	貴志川線に対し設備整備費補助金等の支援を行う。また、貴志川線運営協議会や貴志川線運営委員会において利用促進につながる事業等を行う。	貴志川線に対し設備整備費補助金等の支援を行う。また、貴志川線運営協議会や貴志川線運営委員会において利用促進につながる事業等を行う。	貴志川線に対し設備整備費補助金等の支援を行う。また、貴志川線運営協議会や貴志川線運営委員会において利用促進につながる事業等を行う。	貴志川線に対し設備整備費補助金等の支援を行う。また、貴志川線運営協議会や貴志川線運営委員会において利用促進につながる事業等を行う。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	48,554	55,442	37,475	77,030	46,125	92,673	38,984	0	28,605	0	
伸び率(%)	5.6%	△4.6%	△22.8%	38.9%	23.1%	20.3%	△15.5%	△100%	△26.6%	0%	
人件費	正規職員	8,281	10,908	15,127	14,273	14,435	12,939	13,014	0	13,014	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	8,281	10,908	15,127	14,273	14,435	12,939	13,014	0	13,014	0
国庫支出金	0	6,962	0	39,609	0	46,600	18,534	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	4	2	4	2	4	2	4	0	0	0	
一般財源(税等)	48,550	48,478	37,471	37,419	46,121	46,071	20,446	0	28,605	0	
所要人数(人)	正規職員	1.04	1.37	1.95	1.84	1.93	1.73	1.74	0.00	1.74	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	旅費81千円、貴志川線運営協議会負担金100千円、貴志川線設備整備費補助金45,940千円、貴志川線存続基金積立金4千円										

3 目標及び実績

	指標名	単位	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	貴志川線運営委員会参加回数	回	12	12	12	12	12
			11	10	12		
			91.7%	83.3%	100%	%	%
成果指標	年間輸送人員(和歌山市内)	人	1,737,385	1,740,805	1,744,226	1,747,646	1,751,066
			1,168,365	1,189,718	1,233,883		
			67.2%	68.3%	70.7%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>廃線の危機から運行継続が図られた貴志川線は、本市と隣接する紀の川市を結ぶ広域的な鉄道路線であり、また、山東方面への唯一の公共交通であるため、この限られた公共交通を存続維持させる必要がある。</p>
見直し・改善内容	<p>平成28年度からの10年間は、和歌山県、紀の川市とともに貴志川線の設備整備に対する支援を行う。</p>